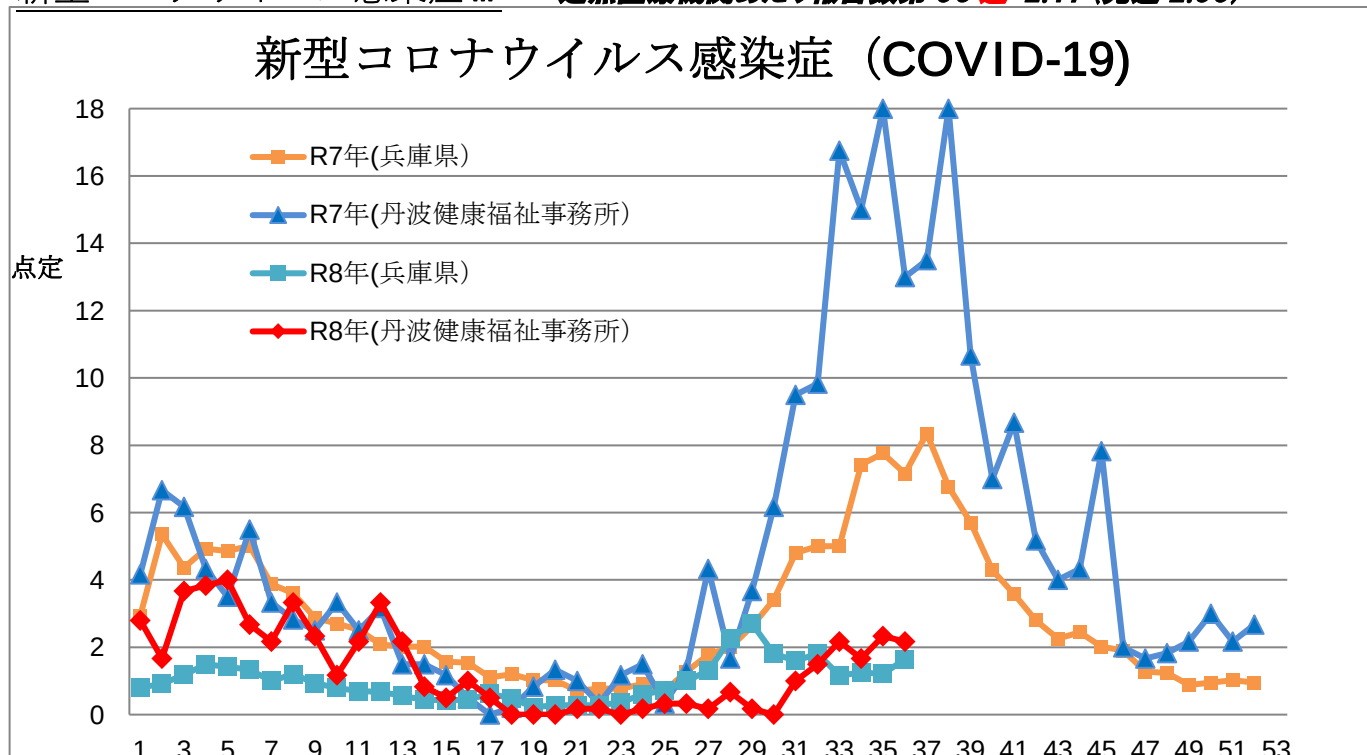


丹波地域の感染症発生動向調査

2026年 第36週(2026.8.31~9.6)

1 今週のトピックス

- 新型コロナウイルス感染症 ... **定点医療機関あたり報告数第36週 2.17(先週 2.33)**



コロナ感染症に感染したときは、同居している高齢者やお子様への二次感染を予防病、流行の予防に努めましょう。

家族が新型コロナウイルスに感染した時のポイント

新型コロナウイルス感染症に感染された方について

発症後5日間かつ症状が軽快して24時間程度は他人に感染させるリスクが高いことから、外出を控えることが推奨されます。また、10日間が経過するまでは、マスクを着用し、周りの方へうつさないよう配慮しましょう。

お世話をする方や同居家族の方について

ご自身の体調にも注意してください。

- 感染した方の発症日を0日として、特に5日間は注意してください。
- 7日目までは発症する可能性があります。
- 外出するときには人混みを避け、マスクを着用しましょう。高齢者等のハイリスク者との接触を控えるなど、周りの方へうつさないよう配慮しましょう。

家庭でできる感染対策

- 1.窓を開けて換気**
定期的に換気をしましょう。共用スペースや他の部屋も頻りに換気しましょう。
- 2.部屋を分ける**
可能な範囲で部屋を分けましょう。お世話はできるだけ離れた方でいい。接触する時間をなるべく短くするようにしましょう。
心臓、肺、肝臓に特病のある方、糖尿病の方、免疫の低下した方、妊婦の方などが感染のお世話をするのは避けてください。
- 3.マスクを着用**
同居家族は可能な範囲でマスクを着用しましょう。感染した家族に接する時や外出する時はマスクを着用しましょう。マスクを密閉し、正しく着用しましょう。
- 4.手洗い等の手指衛生**
こまめに手洗いしましょう。

その他一般的な衛生対策として、汚れたリネン・洋服は洗濯し、ゴミは密閉して捨てましょう。

厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

作成：令和5年5月8日

ダニ媒介感染症に注意しましょう

ダニ媒介感染症とは、病原体を保有するダニに刺されることによって起こる感染症のことで、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)や日本紅斑熱、つつが虫病等があります。

特にマダニの活動が盛んな春から秋にかけては、マダニに刺される危険性が高まります。野外作業や農作業、レジャー等の際には、肌を露出しない服装で虫よけ剤を使用し、マダニに刺されないように注意しましょう。

マダニに刺された場合は無理に引き抜こうとせず、医療機関で適切な処置を受けましょう。また、刺された後数週間は体調の変化に注意し、発熱等症状が現れた場合はすぐに医療機関を受診しましょう。



そのマダニ ウイルス をもっているかも?

病原体をもったマダニに咬まれることで、「重症熱性血小板減少症候群(SFTS)」や「日本紅斑熱」等に感染する恐れがあります。

注意 近年増加中！ 春と秋は特に注意！
4月～10月にマダニの活動が活発になります。

森・草むら・公園・庭など

虫よけ剤の正しい使い方

- 1 腕・足などお肌の露出部分には約15cmの距離からスプレーしてください。
- 2 顔・首筋には手のひらにスプレーしてお肌に塗ってください。
- 3 塗りムラのないように伸ばして塗り固めてください。

※汗をかくと虫よけ剤が流れてしまうので、その都度塗り直すことが大切です。

効果的な対策

肌を露出しない服装

帽子
顔を守るため

長袖
厚手のものが好ましい

虫よけ

虫よけ

マダニに咬まれるのを防ぎましょう

タオル
首や胸元を守るため

長ズボン
ズボンのすそを靴下の中に入れると守りは万全に

靴、スニーカー
肌が出るサンダルなどは咬まれる可能性あり

マダニに咬まれた！そんな時は・・・

- ▶ 無理に引き抜こうとせず、医療機関(皮膚科等)で処置(マダニの除去、洗浄など)をしてもらってください。
- ▶ マダニに咬まれた後、数週間程度は体調の変化に注意をし、発熱等の症状が認められた場合は医療機関で診察を受けてください。



兵庫県



アース製薬



兵庫県とアース製薬は包括連携協定を締結し、蚊・マダニ媒介感染症対策に取り組んでいます。

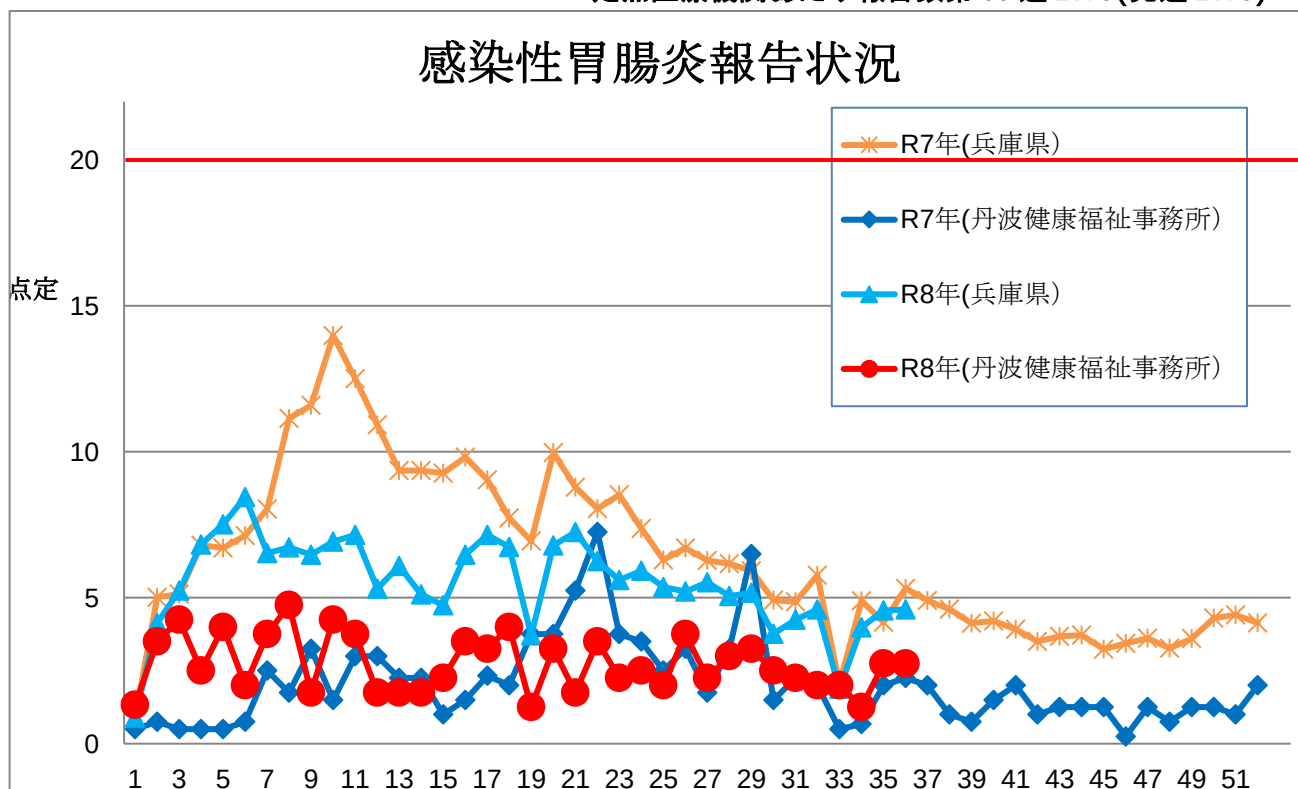
[ダニ媒介感染症 | 厚生労働省](#)

[兵庫県／マダニに注意！ダニ媒介感染症兵庫県／兵庫県感染症対策センター](#)

2 注目の感染症

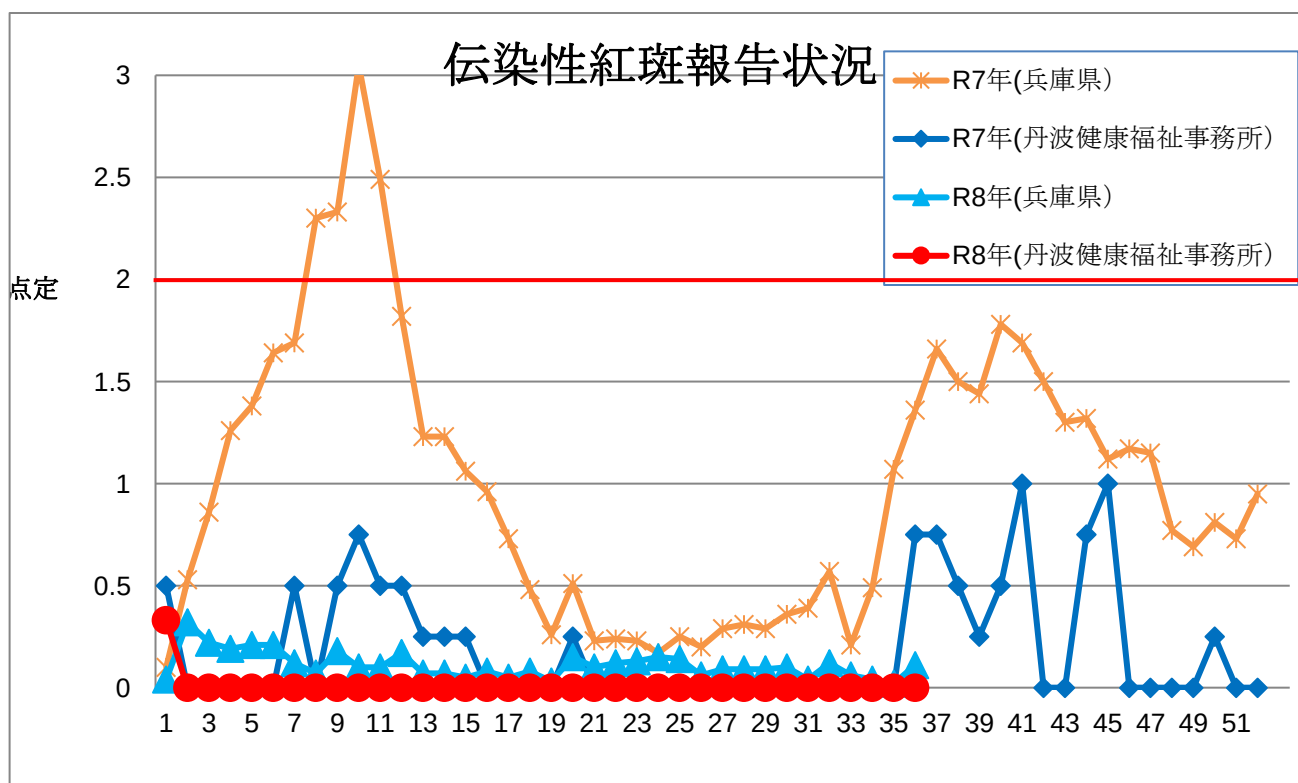
・ 感染性胃腸炎...増減なし

定点医療機関あたり報告数第 36 週 2.75(先週 2.75)

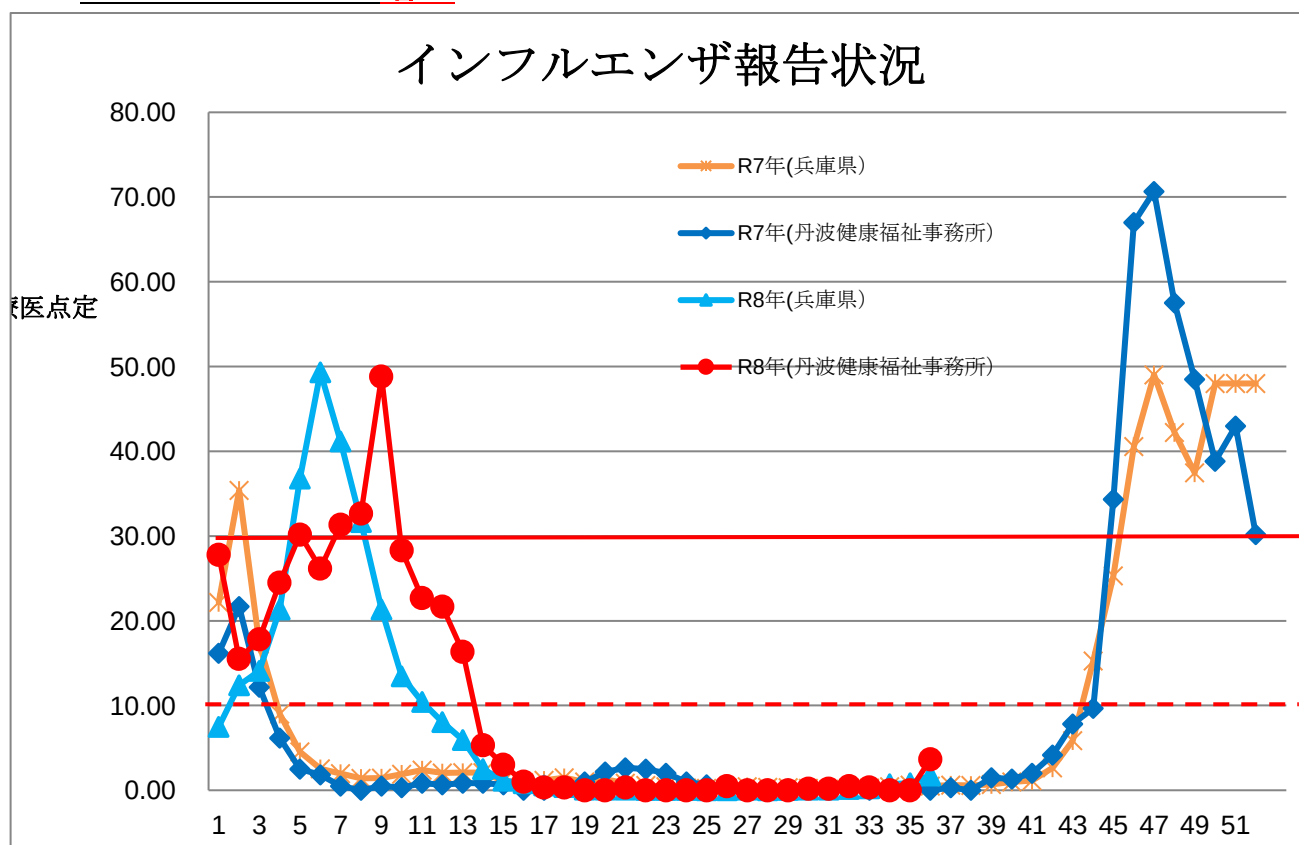


・ 伝染性紅斑...増減なし

定点医療機関あたり報告数第 36 週 0.00(先週 0.00)



・ インフルエンザ...増加



インフルエンザは、第36週で 3.67（先週 0.00）となりました。注意報レベル（10.00）を下回っています。

■ 感染症は予防が肝心です

県民の皆さまにおかれましては、以下の感染症対策を徹底し、感染予防に努めましょう。

1. 手洗いの励行

帰宅時には石けんを用いて手洗いを行い、手指に付着したウイルスを物理的に除去することで感染リスクを減少させましょう。

2. マスク着用と咳エチケット

人混みではマスクを着用し、咳エチケットを守ることが重要です。帰宅後は、マスクの外側を内側に折りたたんでから廃棄してください。

3. 室内の湿度管理と換気

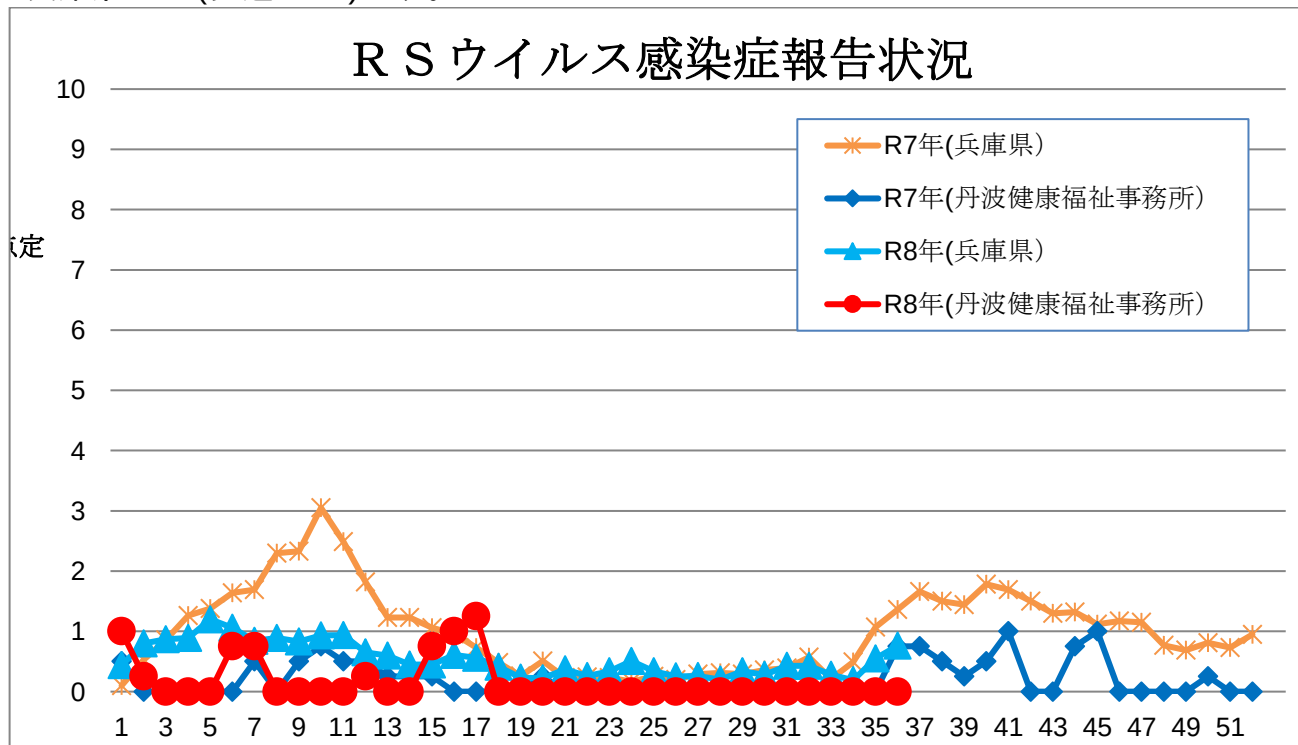
室内では適切な湿度を保つことが大切です。空気が乾燥すると感染リスクが高まるため、加湿器を活用し、湿度を50～60%に維持することが推奨されます。また、適宜窓を開け、室内の空気を入れ替えましょう。

4. 免疫力の維持・向上

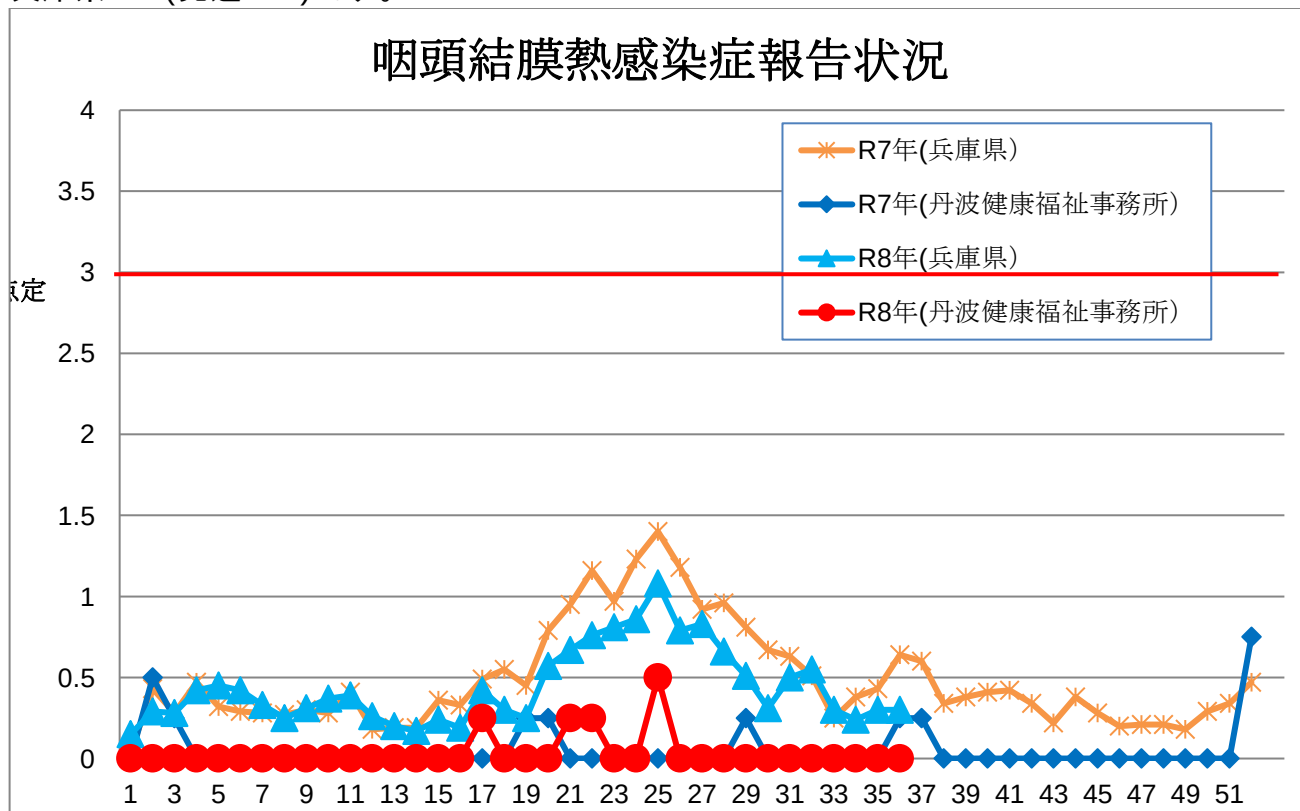
免疫力を高めるため、バランスの取れた食事、十分な睡眠、適度な運動を心がけましょう。併せて、ビタミンC・ビタミンD・亜鉛などの栄養素を積極的に摂取することも有効です。

3 その他感染症

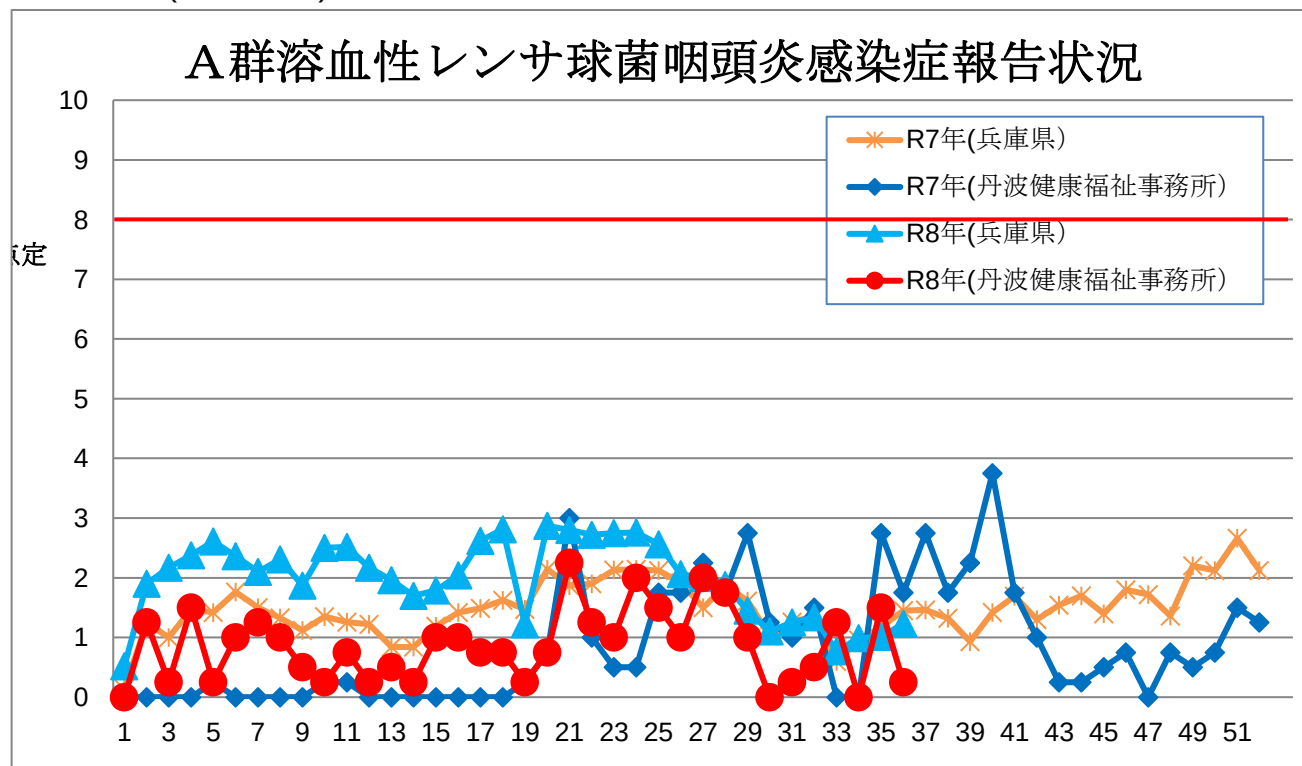
第36週における定点医療機関あたりの報告数は、丹波地域 0.0(先週 0.0)、
兵庫県 0.76(先週 0.55)です。



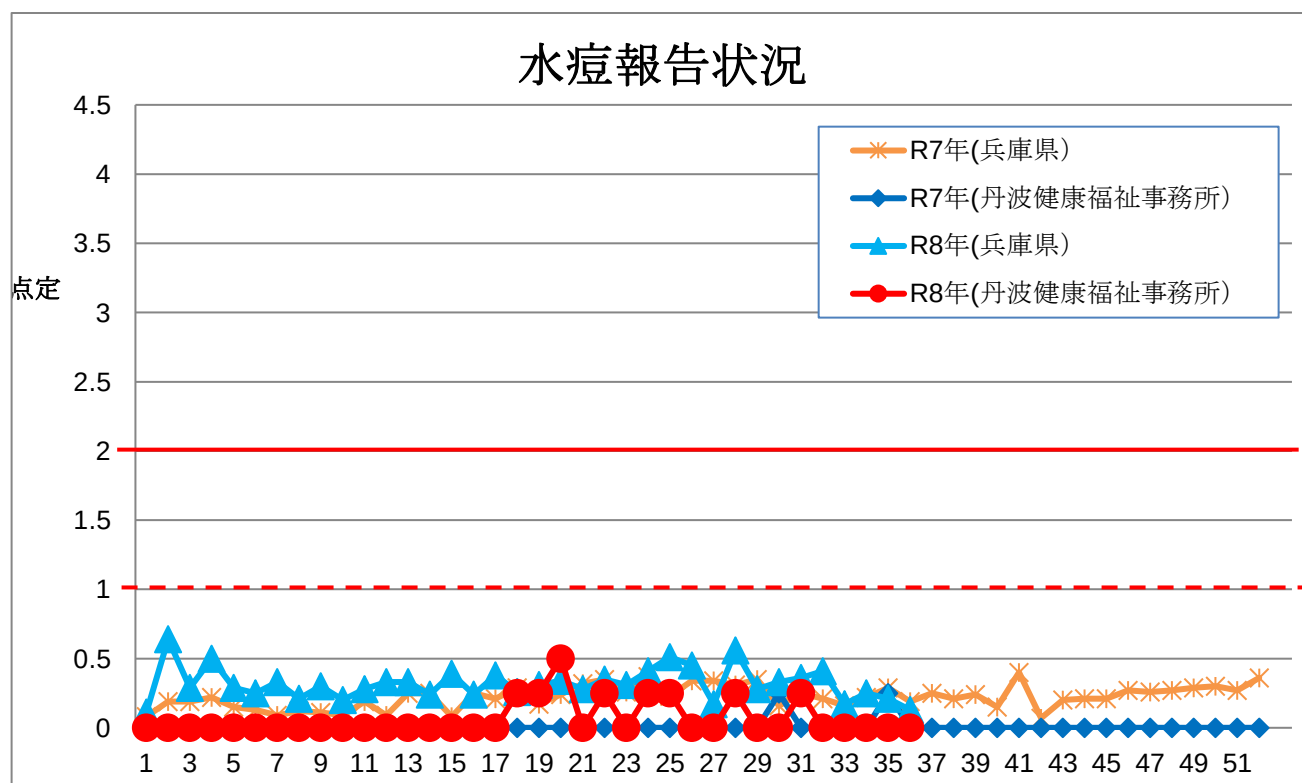
第36週における定点医療機関あたりの報告数は、丹波地域 0.0(先週 0.0)、
兵庫県 0.3(先週 0.3)です。



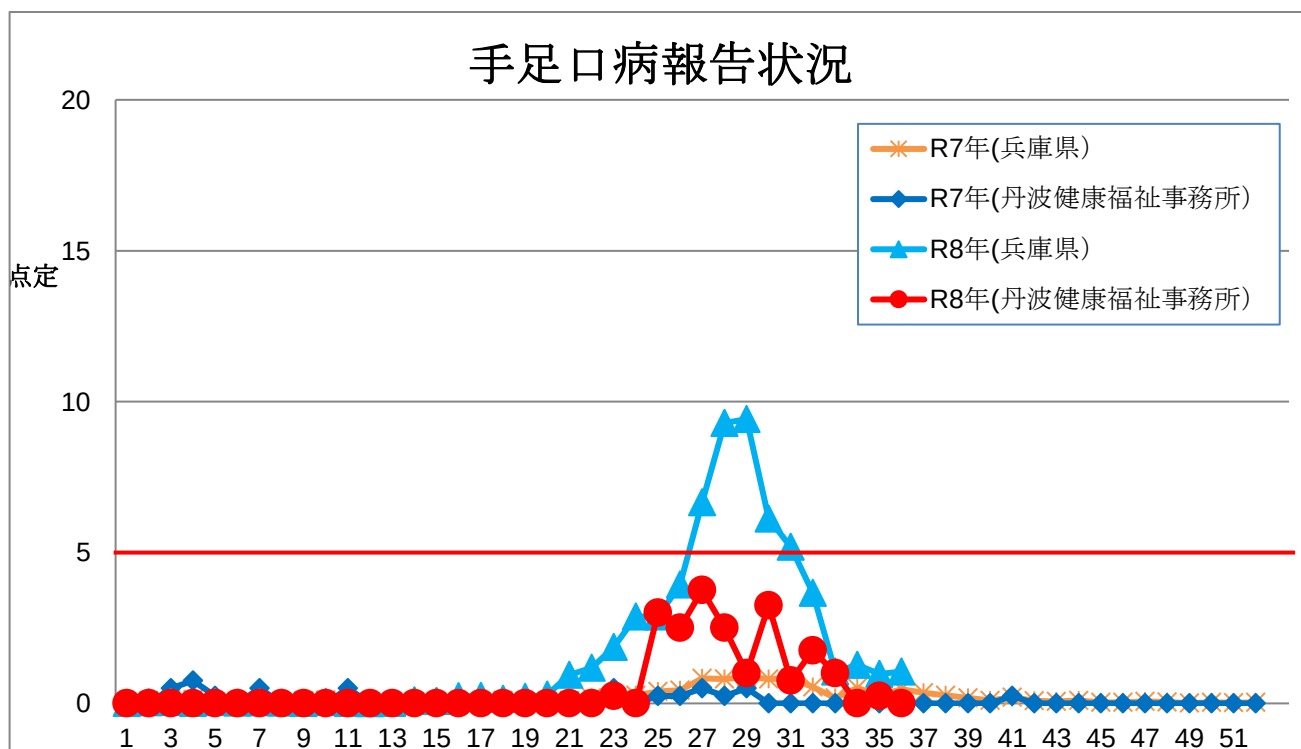
第 36 週における定点医療機関あたりの報告数は、丹波地域 0.25(先週 1.5)、
兵庫県 1.23(先週 1.01)です。



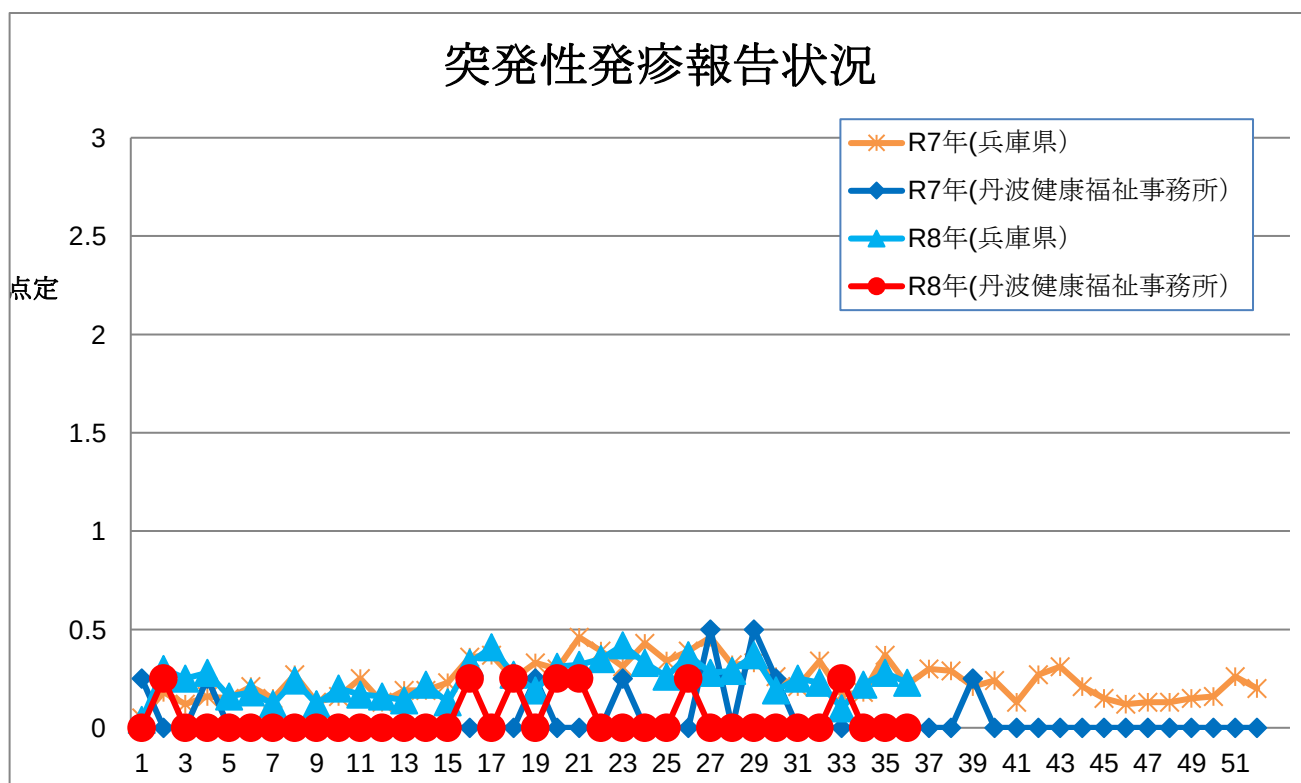
第 36 週における定点医療機関あたりの報告数は、丹波地域 0.0(先週 0.0)、
兵庫県 0.13(先週 0.21)です。



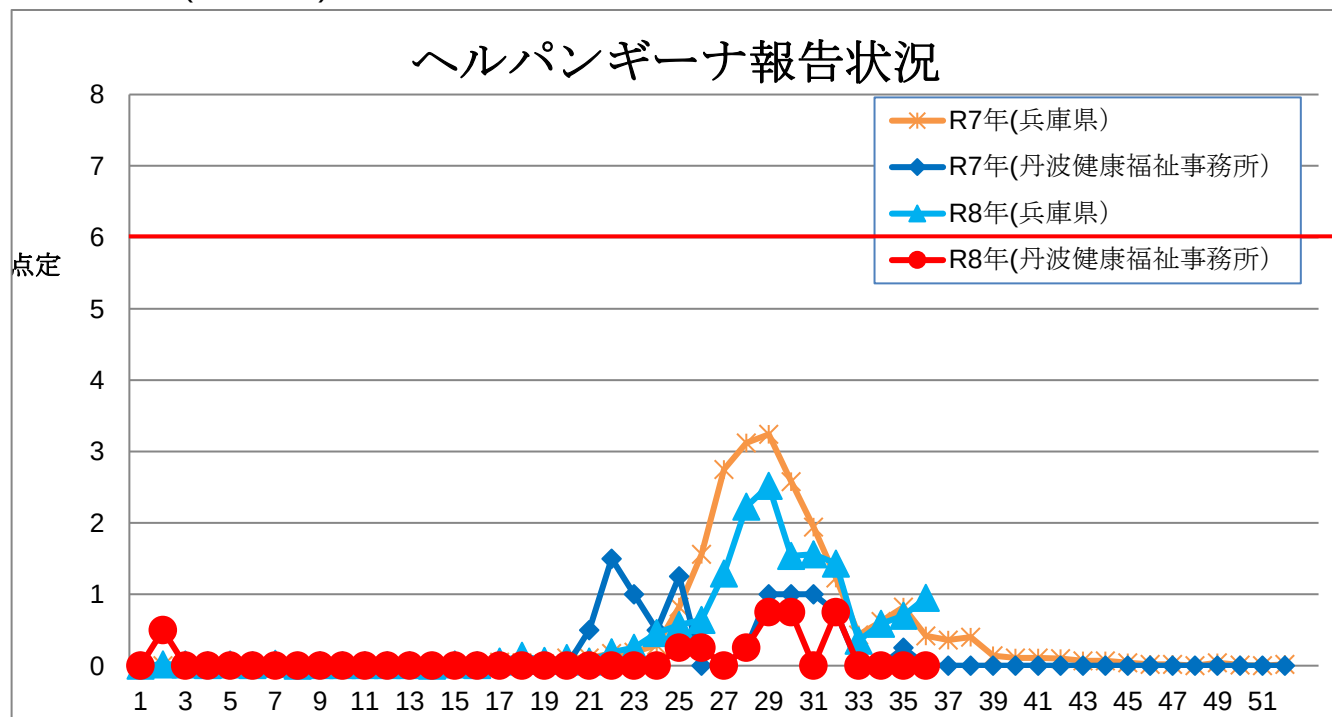
第 36 週における定点医療機関あたりの報告数は、丹波地域 0.0(先週 0.25)、
兵庫県 1.05(先週 0.98)です。



第 36 週における定点医療機関あたりの報告数は、丹波地域 0.0(先週 0.0)、
兵庫県 0.23(先週 0.28)です。



第 36 週における定点医療機関あたりの報告数は、丹波地域 0.0(先週 0.0)、
兵庫県 0.95(先週 0.7)です。



第 36 週における定点医療機関あたりの報告数は、丹波地域 0.0(先週 0.0)、
兵庫県 0.02(先週 0.03)です。

